

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年5月28日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市村角町島ノ前1346番地1
名 称 東大宮地域まちづくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名 会長 吉田 昌良
電 話 番 号 0985-20-6232

令和6年3月28日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添 付 書 類

- (イ) 事業実施報告書
- (ロ) 収支決算書
- (ハ) 事業別収支計算書
- (ニ) その他

令和6年度収支決算書

東大宮地域自治区
東大宮地域まちづくり推進委員会

1 総括

令和6年度は、各部会が活発に活動し、地域活性化に貢献した1年でした。防災フェスティバルや短歌大会などの大規模イベントに加え、歌声コミュニティは参加者の増加、地域からの要望に応じた巡回公民館の開催など、住民のニーズに応える活動も展開できました。特に、集いの場の必要性が改めて認識されたことは大きな成果です。今後、更なる発展のため、予算執行の効率化とともに、好評な活動への支援や集いの場提供など、住民ニーズを的確に捉えた活動をしていきたい。

2 収支決算

(1) 収入の部 (単位：円)

項 目	予 算	決 算	差	備 考
基礎交付金	3,790,000	3,790,000	0	
繰越金	804,715	804,715	0	
使用料（大判プリンター）	5,000	3,000	2,000	
自己資金（預金利息）	24	1,276	▲ 1,252	
合 計	4,599,739	4,598,991	748	

(2) 支出の部

分野	事 業 名	実施年数	予 算	決 算	差	備 考
防	地域防災訓練事業	16年目	388,000	479,522	▲ 91,522	
防	地域防犯パトロール事業	16年目	500,000	419,579	80,421	
防	災害対策事業	4年目	150,000	19,676	130,324	
福	認知症予防と健康維持の実践	6年目	210,000	108,198	101,802	
福	健康ふくしまつり共催事業	6年目	230,000	238,486	▲ 8,486	
福	地域で子育て支援共催事業	5年目	300,000	247,447	52,553	
福	楽楽ダンス共催事業	3年目	200,000	92,470	107,530	
環	大島通線花舞街道創作事業	14年目	220,000	210,191	9,809	
再	ドリームかわらばん事業	11年目	140,000	92,971	47,029	
伝	歌声コミュニティ	6年目	210,000	172,250	37,750	
伝	「短歌のまちづくり」を進める	6年目	240,000	246,882	▲ 6,882	
伝	大島通線短歌ロード事業	4年目	260,000	229,095	30,905	
他	まちづくり推進委員会活動費	13年目	1,101,739	814,117	287,622	
他	まちづくり計画推進事業	12年目	450,000	230,881	219,119	
繰 越 金				997,226		
合 計			4,599,739	4,598,991	997,974	

〔1〕 防犯・防災に係る事業

事業名	ア 地域防災訓練事業	実施年数	16年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標1 安全・安心なまち ○防災に関する知識を深めます 基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします														
目的 (期待される効果)	・いつ起こるか分からない災害に備えて、地域住民の防災意識高揚のため合同防災訓練の一環として「防災フェスティバル」を開催する。 ・様々な防災活動に触れ、災害への備えを再確認し、小さな子どもから高齢者まで家族みんなで楽しく防災を学ぶ。														
事業内容・手段	①防災フェスティバル [開催日時] 令和6年12月15日(日)10:00～13:00 [場 所] 東大宮中学校 [参加団体] 宮崎医療生協・宮崎ガス・高鍋信用金庫・プリエール宮崎・宮崎市上下水道局・宮崎市消防団・宮崎市消防局・自衛隊・宮崎北警察署・国土交通省・JAF・コマツ宮崎・日本赤十字社・WASHハウス・ボン菓子・東大宮地区民生委員児童委員協議会・東大宮地区社会福祉協議会・東大宮地区自治会・東大宮中学校PTA・みやざき犬・キッチンカー・東大宮中学校吹奏楽部・東大宮地域きずなプロジェクト ②自治会防災訓練支援事業 各自治会の防災訓練時に啓発用品を配布するなど協力を行う。 (花ヶ島ニュータウン、桜町、大將堀、大島町原、自由ヶ丘団地、雁ヶ音西、雁ヶ音北、火切塚、東花ヶ島、大島北団地、大島町平原の計11自治会)														
事業費	479,522円														
対象者	東大宮地域および近隣住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度(①防災フェス)</td><td>令和6年度(②自治会)</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>1000人</td><td>515人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>200人</td><td>0人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1200人</td><td>515人</td></tr></table>			年 度	令和6年度(①防災フェス)	令和6年度(②自治会)	一般参加者	1000人	515人	スタッフ	200人	0人	合 計	1200人	515人
年 度	令和6年度(①防災フェス)	令和6年度(②自治会)													
一般参加者	1000人	515人													
スタッフ	200人	0人													
合 計	1200人	515人													
住民の声 (アンケートの結果等)	①防災フェスティバル ・赤十字社さんの活動に驚きました。段ボールのベッドも欲しいと思った。 ・今、あらゆるところで災害が発生しているので大切さを感じました。 ・大事な取り組みだと思います。来年も実施されることをのぞみます。 ・ビニールぶくろでご飯が炊けることを初めて知りました。 ・楽しみつつ勉強にもなりました。防災の意識をより考えるいいきっかけになりました。 ・地元の消防団や水道局、消防署の皆さんが頑張っておられるのがよく分かりました。ありがとうございます。 ・水に関するお話をゆっくり聞くことができました。自助、備蓄の大切さを改めて思いました。 ・移動式コインランドリー車、簡易トイレ、段ボールベット等をじっさいに観れてすごく良かったです。 ・地震体験は恐かったし、よい経験になりました。 ②防災訓練事業 自治会長から「啓発用品の配付が有ると無いのでは、参加人数が全く変わってくるので、毎年続けてほしい。」と意見があった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	いつ起こるか分からない災害に備えて、防災意識高揚と地域住民の繋がりを深めるため、定期的に開催する必要がある。	広報 事業の効果	⑤事業の周知	A	A	①チラシを自治会全戸、小中学校に配付し、併せて大島通線沿い事業所にはポスター掲示を依頼。 ①フェスティバル開催を県内の報道機関に情報投稿し、MRTが取材に来た。		
	②住民の参加	A	A	防災フェスティバルは昨年に続き開催。開催時期が12月で、気候が良かった。来場者も多く、大好評だった。		⑥課題解決への作用	A	A	「楽しみつつ勉強にもなりました。防災の意識をより考える良いきっかけになりました」などの声が聞かれ、住民の防災意識の向上につながっている。		
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	『安全で安心なまち』『人と人との輪のまち』づくりのために、地域防災訓練事業の取り組みは妥当である。		⑦住民の満足度	A	A	天候に恵まれ、多くの来場があり、アンケートの感想からも肯定的な感想、事業継続を望む声が多く聞かれた。		
	④各種団体との連携	A	A	水道局、消防局・団、自衛隊、国交省、地区社協、自治会、民間企業等各種団体の出展協力があつた。		事業継続の必要性			有 ・ 無		
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・ 今回のフェスティバルの規模は大きく、展示内容も年始に起きた能登半島地震のパネル展示など来場者の防災意識向上につながる、趣向を凝らしたものが多くみられた。 ・ スタッフの役割分担が明確で、準備から片付けまでスムーズだった。 ・ 東大宮中学校敷地内の広範囲にわたって各種ブースを設けたため、配置計画が難しかった。									
地域協議会からの意見への対応		＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済		
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済		
		＜意見への対応＞									

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	イ 地域防犯パトロール事業	実施年数	16年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了： なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標1 安全・安心なまち ○防犯パトロールの充実を目指します 基本目標2 人と人との輪のまち ○あいさつやマナーの向上を目指します														
目 的 (期待される効果)	・ 東大宮地域内を青色パトロール車で巡回することにより、犯罪を抑止し、子どもたちの見守りや健全育成に努める。 ・ 学校と連携し、スクールゾーンの注意喚起及び啓発を行う。 ・ 地域住民が安心して暮らせる安全・安心なまちづくりを目指す。														
事業内容・手段	①青色パトロール車による、東大宮地域の巡回日程表を作成し、自治会毎に巡回する。 [巡回日] 小中学校登校日の下校時間頃 (長期休み期間中の月曜日～金曜日を含む) [巡回者] 自治会・社会福祉法人事業者など ②青色パトロール講習会 北警察署による講習会を開催した。 講 師 宮崎北警察署 生活安全課 川越氏 日 時 令和6年5月24日(金) 19時～20時 場 所 東大宮地区交流センター 学習室 対象者 今年度更新者、新規登録者…合計57人参加														
事業費	419,579円														
対 象 者	東大宮地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>青パト講習会</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>参加者</td><td>57人</td><td>19人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>4人</td><td>4人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>61人</td><td>23人</td></tr></table>			青パト講習会	令和6年度	令和5年度	参加者	57人	19人	スタッフ	4人	4人	合 計	61人	23人
青パト講習会	令和6年度	令和5年度													
参加者	57人	19人													
スタッフ	4人	4人													
合 計	61人	23人													
住民の声 (アンケートの結果等)	(短歌大会に応募のあった作品で、見守り隊等に関する短歌が多数あった) ・ おはようとえがおであいさつうれしいなはたふりのひといつもありがとう ・ 宮崎市みんな笑顔でボランティアみな気持ちよく登校してる ・ 登校時地域の方とあいさつの花ひらく声にぎやかな朝 ・ おはようの声が飛びかうこの地域笑顔あいさつ元気がでるな														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	青色パトロール車が巡回することで犯罪の未然防止と子ども達の見守りになる。	広報	⑤事業の周知	A	B	各自治会長へ青パト実施者の更新・新規の講習案内を配付。講習会参加者が増加した。
	②住民の参加	A	A	25自治会と社会福祉法人事業者の協力により青色パトロール車での巡回パトロールを行っている。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	青パトの巡回や『まちづくり』の揃いのジャンパーを着用した人たちの見守りが、犯罪の抑止に繋がる。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域住民の安全を守るために必要な事業である。		⑦住民の満足度	A	A	定期的な青パトの巡回と、揃いのジャンパーを着用した人たちの見守りが地域住民の安心に繋がる。
	④各種団体との連携	A	A	北警察署生活安全課による『青パト講習会』を5月下旬に開催。12月初旬、年末年始特別警戒の発隊式に参加。		事業継続の必要性			有 ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・まちづくりで作成した揃いのジャンパーは、見守り隊や青パト巡回者の着用が定着して徐々に地域住民に認知されてきた。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未 ・ 済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	ウ 災害対策事業	実施年数	4年目
事業期間	開始：令和3年度	終了： なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標1 安全・安心なまち ○防災に関する知識を深めます 基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします		
目的 (期待される効果)	いつ起こるかわからない災害に普段から備えておくために、今、考えられる対策を行う。		
事業内容・手段	災害時に使用できる防災かまどを使用し、炊き出し訓練を開催予定であったが、日程調整ができなかったため、次年度に持ち越すこととなった。		
事業費	19,676円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)			
住民の声（アンケートの結果等）	地域の団体から使用したいとの声があった。		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	—	A	イザという時に防災かまどを誰でも使えるように、一人でも多く実体験させていく。	広報	⑤事業の周知	—	B	
	②住民の参加	—	A	老若男女問わず、楽しみながら体験してもらえる事業である。	事業の効果	⑥課題解決への作用	—	A	火入れができる人材が限られているため、日程調整が難しい。必要な時に火入れができる体制の構築が必要である。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	A	災害時だけでなく、日頃から地域との交流を深めるためにも継続して取り組む必要がある。		⑦住民の満足度	—	A	
	④各種団体との連携	A	A	地域の団体から、使用したいとの要望があった。	事業継続の必要性				㊦ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・次年度は、日程調整を早めに行い、事業の継続をしていきたい。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済	
	＜意見への対応＞								
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済	
	＜意見への対応＞								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	ア 認知症予防と健康維持の実践	実施年数	6年目												
事業期間	開始：令和元年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします														
目的 (期待される効果)	健康を維持し、人と人とのコミュニケーションを円滑にすることでふれあいの輪を広げ、地域の居場所を増やしたい。														
事業内容・手段	◇巡回公民館講座 ①4月10日 (水)大島北団地『あおぞら健康相談会』 ②5月22日 (水)火切塚『健康マージャン』 ③7月18日 (木)東花ヶ島『フレイル予防教室』 ④7月20日 (土)自由ヶ丘団地『フレイル予防教室』 ⑤9月21日 (土)自由ヶ丘団地『あおぞら健康相談会』 ⑥10月1日 (火)村角『健康講座』 ⑦11月21日 (木)大島北団地『健康マージャン (あわいや利用者対象) 』 ⑧12月4日 (水)火切塚『健康マージャン』 ⑨1月20日 (月)ぼくんちへおいでよ『おとな食堂』 ⑩1月30日 (木)東花ヶ島『健康マージャン』 ⑪2月27日 (木)波島『健康マージャン』 ⑫3月6日 (木)『健康講座』 ◇認知症サポーター養成講座 ・12月11日 (水) 9時～12時 『東大宮小学校 4年生』														
事業費	108,198円														
対象者	東大宮地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td></td><td>巡回公民館講座</td><td>認知症サポーター養成講座</td></tr><tr><td>参加者</td><td>164人</td><td>123人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>51人</td><td>7人</td></tr><tr><td>合計</td><td>215人</td><td>130人</td></tr></table>				巡回公民館講座	認知症サポーター養成講座	参加者	164人	123人	スタッフ	51人	7人	合計	215人	130人
	巡回公民館講座	認知症サポーター養成講座													
参加者	164人	123人													
スタッフ	51人	7人													
合計	215人	130人													
住民の声 (アンケートの結果等)	【巡回公民館講座】 ・とても良かった！自分一人ではないと思えた！ ・健康観は自分自身が感じるものであって、今日何をしようかなと思うのも健康である人と触れ合うのも大事なんだなと思いました。今日はありがとうございました。 ・お話を聞いていただきありがとうございます！！皆様にお会いできてうれしかったです。 ・地域の方と交流でき楽しかったです。 ・とっても楽しかったです。またお願い致します。 ・とっても大変で良かった。いつも動かさない所を動かせて、とても良かった。自分でやれる様にガンバります。毎日続けてやれる様にします。先生が明るくて楽しかった。 ・今日は頭の体操になりました。楽しかったです。先生の教え方も良く楽しくできました。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域の公民館で開催することで、気軽に参加でき、近所との繋がりもできる事業である。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	各自治会公民館で定期的に開催される集まりに参加し、地域住民の声を聞いて開催予定を組んでいる。	
	②住民の参加	A	A	企画した部会員が参加者にどんなことをやりたいか丁寧に聞き取っているため、参加者が増えつつある。			⑥課題解決への作用	A	A	毎年定期的に開催することで、地域住民の居場所づくりになる。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	高齢者の居場所づくりになり、住民間の繋がりが出来るので、重要な取り組みである。			⑦住民の満足度	A	A	健康マージャンだけに限らず、健康に関する各種講座もあり、参加者に好評だった。	
	④各種団体との連携	A	A	各地区の自治会長と連携し、公民館等を会場として利用している。小学校の授業の一環で行った。		事業継続の必要性				有・無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・月に1回のペースで開催しており、地域住民にも浸透しつつある。今年度は、自治会の方から依頼があり、計画した講座もあった。 ・健康相談会、健康マージャン、フレイル予防体操など地域住民の希望を聞いて開催した。参加者からは好評で、交流の場があることを喜ぶ声や、事業の継続を望む声が多く聞かれた。 ・宮崎市より災害時用備蓄品を福祉的活用としていただき、配付したところとても喜ばれた。 ・認知症サポーター養成講座を、地域包括支援センターの協力のもと、小学校で初めて開催することができた。									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未・済	
		＜意見への対応＞									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未・済	
		＜意見への対応＞									

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	イ 健康ふくしまつり共催事業	実施年数	6年目
事業期間	開始：令和元年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします 基本目標4 文化を守り伝えるまち ○地域の文化を学び広めます		
目的 (期待される効果)	永年にわたり開催され、広く地域住民に知られる「健康ふくしまつり」と共催することで自治会や地域の各団体と連携をとり、地域の活性化と絆づくりにつなげる。		
事業内容・手段	(内容)まちづくり各部会の活動の紹介や関係団体等への参加案内を通して、まちづくり推進委員会の活動を広く知らせる。 チラシ及びポスターの作成を行いふくしまつりの広報活動を行う。 各種団体との協力により充実した祭りができるようにする。 (場所)東大宮地区交流センター (日程)令和7年3月9日(日)10時～14時 (共催団体) 東大宮地区社協 (参加団体)…宮崎市社会福祉協議会、大宮地区自治会連合会（東大宮地区）、大宮地区自治公民館連絡協議会（東大宮地区）、さんさんクラブ東大宮、東大宮地区民生委員児童委員協議会、東大宮地区青少年育成協議会、東大宮地区生涯学習推進協議会、東大宮地区小中学校、東大宮地区小中学校PTA きずなプロジェクト(東大宮地区在住市役所職員)、宮崎県リフォーム協会、宮崎大宮高等学校、宮崎西高等学校、宮崎北高等学校、おもちゃ病院みやざき、宮崎北交通安全協会大島支部・村角支部、東大宮地区地域包括支援センター、プリエール宮崎、向陽園、清樹会、大島児童館、東大宮保育園、のぞみ保育園 J R A 宮崎育成牧場、野崎東病院、シルバーケア野崎、宮崎医療生協、宮崎生協病院、宮崎市保健所、はまゆう乳業、東大宮スポーツクラブ、FOREST 東大宮地域まちづくり推進委員会文化部会・防犯防災部会、東大宮地区社会福祉協議会調理ボランティア		
事業費	238,486円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)	参加人数1,000人、スタッフ250人の合計1,250人		
住民の声（アンケートの結果等）			

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域の祭りとして定着しており、地域住民が毎年楽しみにしているイベントである。	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシとポスターを作成し、自治会加入全世帯と児童福祉施設、小中学校全生徒、周辺事業所に配布・掲示をお願いした。
	②住民の参加	A	A	多くの来場者があり、準備したスタンプラリーの台紙もほとんどなくなった。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	閉じこもりがちな高齢者や障がいのある人たちも、参加しやすい仕組みづくりを今後も検討する必要がある。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各種団体間の橋渡しを行うことで、連携の強化に努めている。		⑦住民の満足度	A	A	色々な展示や体験コーナーがあり来場者から大変好評だった。
	④各種団体との連携	A	A	地域の活性化に各団体・企業と協力して行えた。地区社協と連携を取りながら、計画を進めた。	事業継続の必要性				④ ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・ 高齢者や障がい者、車いす利用者も来場しやすいように、会場内をバリアフリー対応の設営にした。 ・ 会場が混雑しないように、ホール内の出入口を一方通行にした。 ・ 宮崎市の災害時用備蓄品の非常食と保存水をいただき、防災コーナーやスタンプラリーで配付した。 ・ 案内係として北高校に学生ボランティアを依頼した。高校生の声かけにより、危険な道路の横断がなくなった。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済
		<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済
		<意見への対応>							

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	ウ 地域で子育て支援共催事業	実施年数	5年目																				
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし																					
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします 基本目標3 地域の力を育むまち ○子どもは地域の宝として見守り育てます																						
目的 (期待される効果)	「こどもは地域の宝」をコンセプトに、地域でこどもを育てる気持ちで、子育て世代の親だけでなく学校、児童館、保育園等こどもに関わる団体等への支援体制づくりを推進する。																						
事業内容・手段	①子育て世代の支援として定期的に預かりを行い、学校や地域の行事等の際の一時預かりを行う。 ＜一時預かり＞ [会場] 東大宮地区社会福祉協議会 会議室他 [日時] 通年第1・第3月曜日(10時～12時) 合計17回実施 [備考] 保育資格者を2名依頼する。 ②他団体と協力し、子どもに関わる行事を年間を通じて支援する。 ☆もちつき ☆フードドライブ ☆海の日のかども食堂 ☆歩こう会等 ＜もちつき＞ [日時] 令和7年2月16日(日) 10：00～12：00 ＜歩こう会＞ [日時] 令和7年2月9日(日) 9：30～12：00 ＜海の日のかども食堂＞ [日時] 令6年7月15日(月) 10:00～13:00 一ッ葉マリーナで行う予定であったが、悪天候のため、場所を交流センター調理室に変更し、親子でカレー作りやクレープ作りを行った。 ③チラシ配付やポスター掲示を行い情報発信していく。 チラシやポスターを作成し、小学校で配布したり、各自治公民館や事業所等に掲示をお願いした。 ④親子で一緒に交流できる場、子育て世代の情報交換のための場の提供を行った。																						
事業費	247,447円																						
対象者	東大宮地域住民																						
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>事業名</td><td>一時預かり</td><td>もちつき</td><td>歩こう会</td><td>海の日</td></tr><tr><td>参加者</td><td>73人</td><td>130人</td><td>85人</td><td>18人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>90人</td><td>20人</td><td>20人</td><td>11人</td></tr><tr><td>合計</td><td>163人</td><td>150人</td><td>105人</td><td>29人</td></tr></table>			事業名	一時預かり	もちつき	歩こう会	海の日	参加者	73人	130人	85人	18人	スタッフ	90人	20人	20人	11人	合計	163人	150人	105人	29人
事業名	一時預かり	もちつき	歩こう会	海の日																			
参加者	73人	130人	85人	18人																			
スタッフ	90人	20人	20人	11人																			
合計	163人	150人	105人	29人																			
住民の声（アンケートの結果等）	《利用者》 ・スタッフの方が優しく、リフレッシュになりました。 ・リラックスしてバレーを楽しめました。 ・泣いていても散歩などに連れて行って下さるのがよかった。 《スタッフ》 ・とてもいい企画だと思います。今は体育館利用者だけに限定されているが、一般の人でも利用できる曜日を考えた方がいいと思います。 ・来年度の参加を検討しています（体調の不調）。幼稚園等の代休の情報を共有できればスタッフの参加を調整できるのではないかと思います。 ・毎年色々な子供さんが来られますが、成長が見れてとても楽しいです。医者に行くのに子守りしてください、という方が一度いましたが、こういう場所があるのを知らない方がいるのでは？！																						

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	子育てをしやすい、住みやすい地域にするため、各種団体と連携して子育て世代の支援をしていく必要がある。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシ・ポスターを作成し、小学校に配付したり、事業所等に掲示を依頼した。また、LINEを使用し簡単に申し込めるように工夫した。	
	②住民の参加	A	B	海の日のごども食堂では、親子で一緒にカレーやクレープを作り、みんなで歓談しながら食べた。			⑥課題解決への作用	B	B	今後も子育て世代に寄り添って、各事業を継続的に支援していく。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地区社協と協力しての共催事業なので、今後も積極的に取り組んでいく。			⑦住民の満足度	A	A	参加者からは、「とても楽しかった」「家ではできない経験ができて良かった」など満足度の高い意見が聞かれた。	
	④各種団体との連携	A	A	地域で子どもを育て見守るために、学校、地区社協、民生委員、青少協と協力して実施できた。		事業継続の必要性				有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・『海の日のごども食堂』は、悪天候により場所と内容を変更したが、親子で一緒に食事を作って食べる有意義な時間を過ごせた。									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済		
		<意見への対応>									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済		
		<意見への対応>									

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	エ 楽楽ダンス共催事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和4年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域の体育・文化活動を推進します 基本目標3 地域の力を育むまち ○地域の人材を発掘しリーダーを育てます														
目的 (期待される効果)	地域住民の交流を図り、身体を動かすことの楽しさとダンスの楽しさを感じてもらい健康増進に繋げる。														
事業内容・手段	[会場] 東大宮地区交流センター 多目的ホール [日時] 毎月第1、第3、土曜日 13時半～15時 [内容] さんさんクラブや東大宮地区社会福祉協議会と共催で、簡単にできるダンス教室を行う。専門の講師のもと、楽しく体を動かすことで『フレイル』を予防し、誰でも気軽に参加できることで健康を維持し地域住民の交流を図る。全15回実施。														
事業費	92,470円														
対象者	東大宮地区および周辺住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>86人</td><td>160人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>48人</td><td>54人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>134人</td><td>214人</td></tr></table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	86人	160人	スタッフ	48人	54人	合 計	134人	214人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	86人	160人													
スタッフ	48人	54人													
合 計	134人	214人													
住民の声 (アンケートの結果等)	・いつも楽しく参加しています。これからも続けたいと思います。 ・楽にできました。年齢が高くなると動きにくくなるので、必要な体操を教えてもらって良かったです。 ・とにかく楽しく参加することができた。毎週したい気持ちでいるが、無理だということだ。残念！！月1回になるそうだが、がんばりたい。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域住民の交流を図り、身体を動かすことの楽しさを感じながら健康増進に繋げる。	広報	⑤事業の周知	B	A	今年度は参加者の口コミのみで行った。
	②住民の参加	A	A	教室に参加した人が友人に声を掛けている。	事業の効果	⑥課題解決への作用	B	A	参加者が固定化してきて、人数が若干減少している。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	さんさんクラブだけでなく、広く地域住民に参加を呼びかけ事業を継続させることは必要な業務である。		⑦住民の満足度	A	A	
	④各種団体との連携	A	A	さんさんクラブや社会福祉協議会と共催にして開催している。	事業継続の必要性				④有 ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・夏のお盆の時期は、熱中症予防のため休みにするなど対策を行った。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞					対応	未 ・ 済	
		＜意見への対応＞							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞					対応	未 ・ 済	
		＜意見への対応＞							

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[3] 環境に係る事業

事業名	ア 大島通線花舞街道創作事業	実施年数	14年目																				
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし																					
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします ○あいさつやマナーの向上を目指します 基本目標3 地域の力を育むまち ○子どもは地域の宝として見守り育てます																						
目的 (期待される効果)	東大宮地域を縦断する大島通線を地域のシンボルロードとしてマス花壇を整備し花を植え、街路樹を剪定することによって、地域をきれいに保つ。																						
事業内容・手段	①令和6年6月23日(日) [参加人数] 合計100人(参加者90人、スタッフ10人) [内 容] マス花壇の車道側のランタナを除去する 手入れのしやすい一年草の花を植える ②令和6年12月1日(日) [参加人数] 合計89人(参加者77人、スタッフ12人) [内 容] 歩道や車道に伸びているの雑草除去とマス花壇の草ぬき 花壇の空いているところに球根を植える																						
事業費	210,191円																						
対象者	東大宮地域住民																						
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td colspan="2">令和6年度</td><td colspan="2">令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>90人</td><td>77人</td><td>98人</td><td>100人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>10人</td><td>12人</td><td>12人</td><td>13人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>100人</td><td>89人</td><td>110人</td><td>113人</td></tr></table>			年 度	令和6年度		令和5年度		一般参加者	90人	77人	98人	100人	スタッフ	10人	12人	12人	13人	合 計	100人	89人	110人	113人
年 度	令和6年度		令和5年度																				
一般参加者	90人	77人	98人	100人																			
スタッフ	10人	12人	12人	13人																			
合 計	100人	89人	110人	113人																			
住民の声 (アンケートの結果等)	・ ボランティアをしてすごく楽しかったです。身近なところをきれいにできてうれしかったです。 ・ いつの間にか、車道と歩道にはみ出すほどの草が生えていてビックリした。事故防止のためにも、キレイにしたいと思いました。 ・ 意外と土を掘ったり、草を切ったりするのが大変だった。初めてだったけど楽しかった。埋めた球根がうまく成長してくれればいいなと思った。 ・ 地域の手助けをする機会はなかなかないので参加できてとても楽しかったです。 ・ 枯れていた場所がきれいになってとてもうれしかった。次も又参加したいです。 ・ 今回初めてこの活動に参加しました。参加者たちのふんいきがとても良く、とても楽しく活動に参加することができました。																						

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域のシンボルロードのマス花壇を手入れすることにより、きれいなまちが実現する。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	小中学校に配付し、大島通線周辺の自治会に協力依頼文書送付。みどりの少年団には電話連絡。
	②住民の参加	A	A	小中学校、みどりの少年団、自治会にチラシ配付し、広く参加を呼び掛けた。		⑥課題解決への作用	A	A	定期的にマス花壇を手入れし、街路樹に短歌を掲げて地域住民に親しまれる大島通線にする。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	東大宮地区のシンボルロードを地域住民で作り上げる事業である。		⑦住民の満足度	A	A	マス花壇のランタナの車道や歩道に伸びている部分を撤去し、花苗や球根を植えた。参加者は作業も景観も満足した様子だった。	
	④各種団体との連携	A	A	小中学校、みどりの少年団、自治会に参加依頼をした。		事業継続の必要性				有 ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・ランタナが茂りすぎていて、車道や歩道に伸びて危険なため、対策として、新たに植栽するものは球根等にした。								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔４〕 地域再生に係る事業

事業名	アドリームかわらばん事業	実施年数	11年目
事業期間	開始：平成26年度	終了：	なし
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域の体育・文化活動を推進します 基本目標3 地域の力を育むまち ○地域の人材を発掘し、リーダーを育てます		
目的 (期待される効果)	東大宮地域のまちづくり活動を中心に情報収集を行い、地域住民へ様々な手法により情報発信を行うことで、まちづくり事業への興味を深め、地域への愛着を持ってもらう。		
事業内容・手段	①情報紙『アドリームかわらばん』を発行し、まちづくり活動、東大宮地域の各種行事やテーマを決めて掲載する。 今年度は『はたちの集い』特集号を発行した。 ②ホームページ、フェイスブック、インスタグラムを運営し、情報を細やかに早く伝えると共に、東大宮地域住民だけでなく東大宮地域出身者や東大宮地域に興味のある地域外の方、まちづくり活動に興味のある方にも情報を発信する。ホームページは部会員、フェイスブックとインスタグラムは事務局が担当して随時発信している。		
事業費	92,971円		
対象者	東大宮地域住民、東大宮地域出身者		
参加者数 (内訳)	該当なし		
住民の声 (アンケートの結果等)	《はたちのつどい参加者アンケート》 ・久しぶりに同級生と会えて楽しかったです。 ・とても思い出に残る一日になりました。準備していただき本当にありがとうございました。 ・久々日会うことができ、たくさんの思い出があったことを改めて思い出すことができた日でした。今回素敵な式にご尽力いただいた関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。 ・久しぶりに地元に戻って友達や先生と話し、当時の思い出を振り返ることができました。		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域住民にまちづくりの事業や行事などを紹介し、広く知ってもらう。		広報	⑤事業の周知	A	A	ホームページやフェイスブック、インスタグラムを継続して随時更新した。
	②住民の参加	A	A	『はたちの集い』の参加者に意見や感想を取材した。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	まちづくりの事業について広く住民に周知するには、広報は重要な役目である。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくりが地域で行っている行事などを住民に広報することは必要なことである。			⑦住民の満足度	A	B	発行したドリームかわら版について「とても良かった」という声が聞かれた。
	④各種団体との連携	A	A	『はたちの集い』は中学校で開催され、撮影には地域住民や学校やPTAの協力があった。		事業継続の必要性				④ ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・ホームページ上に『はたちの集い』の写真を公開した。								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔5〕 伝統文化に係る事業

事業名	ア 歌声コミュニティ	実施年数	6年目												
事業期間	開始：令和元年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします														
目的 (期待される効果)	歌う喜びや楽しさを共有し、地域の方々との交流親睦を図る。新規加入者を増やし地域の活動に積極的に参加してもらえよう取り組む。														
事業内容・手段	[内容] 定期的を開催して唱歌、叙情歌、懐かしい流行歌をピアノの生伴奏で合唱する。また発表の場として地域イベントに出演した。 [日程] 毎月第2、第4、火曜日、午前10時半～11時半 [場所] 東大宮地区交流センター 2F学習室 今年度は22回実施した。 11月17日(日)総合文化祭に参加 24人 3月 9日(日)健康ふくしまつりに参加 33人														
事業費	172,250円														
対象者	東大宮地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度(22回開催)</td><td>令和5年度(22回開催)</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>427人</td><td>412人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>117人</td><td>127人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>544人</td><td>539人</td></tr></table>			年 度	令和6年度(22回開催)	令和5年度(22回開催)	一般参加者	427人	412人	スタッフ	117人	127人	合 計	544人	539人
年 度	令和6年度(22回開催)	令和5年度(22回開催)													
一般参加者	427人	412人													
スタッフ	117人	127人													
合 計	544人	539人													
住民の声(アンケートの結果等)	・毎回楽しく歌っています。健康にも多いに役立っていると思います。この時がいつまでも続きますように。 ・参加者が毎回増え、教室にいっぱいでとても気持ちうきうきします。福祉祭りでは参加者も多く、大盛況でした。もっともったこの歌声が、皆様から愛されますように。 ・参加するようになって半年ちょっとですが、とても楽しく充実した時間になりました。今後も益々元気に過ごせそうです。 ・大きい声を出すことがないので、歌声で発声できて体も心も楽しいです。顔見知りの方も出来てうれしいです。 ・出かける機会が少なくなり、友達から聞いて参加してとても楽しく、私にも声が出るんだとビックリ。これからもよろしくお願いします。 ・雰囲気は温かく、皆と一緒に歌えることは楽しみです。声を出すと気分も明るくなり一日幸せな気分になります。 ・発表の場があると励みになるので楽しかったです。 ・カラオケと違って、皆で歌うのはとても楽しい。今後もよろしく申し上げます。 ・お腹から声を出してストレス解消となり、とても楽しい時間を過ごせていただいています。ありがとうございます。 ・毎回楽しみにしています。今はやりの曲で、私たちの年代でも歌える曲も歌ってみたい。 ・月二回、なるべく参加できるようにしています。いつまでも続けてください。お願いいたします。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項			評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度						本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	声を出すことによりストレス発散になり、参加者との交流も盛んになる。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	B	今年度はチラシを作成し、自治会で回覧した。また、イベントにも参加し、事業の周知に努めている。	
	②住民の参加	A	A	回を追うごとに参加者が増えている。友人からの誘いなど、口コミでの参加者も見られた。		⑥課題解決への作用	A	A	ストレス発散と参加者の交流親睦に有意義な活動である。		
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	一緒に合唱することにより、交流親睦が深まり地域の文化活動などが活発になる。		⑦住民の満足度	A	A	昨年度より参加人数が増え、イベントにも参加できたため、参加者も満足している。		
	④各種団体との連携	A	A	総合文化祭、ふくしまつりに参加した。		事業継続の必要性				有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・今年度は『歌声コミュニティ』の募集チラシを作成し、東大宮地域の各自治会で班回覧を行ったところ参加者が増えた。 ・参加者の声かけにより、参加人数が増えている。 ・本事業を毎回楽しみにしていたり、生きがいに感じている声が多く聞かれた。									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>							対応	未 ・ 済	
		<意見への対応>									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>							対応	未 ・ 済	
		<意見への対応>									

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔5〕 伝統文化に係る事業

事業名	イ「短歌のまちづくり」を進める	実施年数	6年目												
事業期間	開始：令和元年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域の体育・文化活動を推進します 基本目標3 地域の力を育むまち ○子どもは地域の宝として見守り育てます 基本目標4 文化を守り伝えるまち ○地域の文化を学び広めます														
目的 (期待される効果)	短歌大会を開催して地域の文化活動を育てる。														
事業内容・手段	《短歌大会》 [内容] 小・中・高校生及び地域住民から短歌を募集し優秀作品を表彰する。 選者に作品の選評及び講演を依頼し、短歌大会を開催する。 小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部、高校生の部、一般の部の5部門を設け、各部門ごとに優秀賞1名、秀逸3名、佳作5名、入選10名の賞を選ぶ。 応募作品数によっては部門数の増減を検討する。 ◎6月中旬～下旬…短歌募集チラシを小中学校、北高校、大宮高校、自治会、 野崎東病院、あわいや、どんこや、キャンパスの会に配付 ◎9月6日(金) …応募締切 一般53首、高校生805首、中学生27首、小学生407首(高学年343首、低学年64首) 合計1,292首 (応募数が多かったため、部会長と相談し5部門にした) ◎11月2日(土) …10:00～11:30 短歌大会と表彰式(交流センター学習室) ※今年度も学生は各学校にお願いし、一般の部のみの表彰式を実施。														
事業費	246,882円														
対象者	東大宮地域住民														
参加者数 (内訳)	短歌大会表彰式(一般の部のみ) <table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>14人</td><td>15人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>12人</td><td>9人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>26人</td><td>24人</td></tr></table> ※短歌大会全応募作品 1,292首。(昨年度は1,109首)			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	14人	15人	スタッフ	12人	9人	合 計	26人	24人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	14人	15人													
スタッフ	12人	9人													
合 計	26人	24人													
住民の声(アンケートの結果等)	・とても良かったです。勉強になりました。また来年も出します。ありがとうございました。 ・素晴らしい作品ばかりでした。脳クイズとしてとても良かったです。 ・たくさんの応募があり素晴らしいと思います。長く続けてください。頭の活性化になります。先生の解説がおもしろい。 ・障がい福祉サービス事業所はながしまです。重い障がいがあり、医療的ケアを必要とする利用者の皆さんが、地域社会とかかわれる機会の一つとして昨年度から利用者様と職員で応募させていただいています。これからもよろしくお願いします。 ・小学3年生の歌がとても自然で親子の愛情がよく伝わり、素敵な歌で驚きました。素直な気持ちがやはり大事なんですよね。楽しかったです。ありがとうございました。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	小中学生も毎年夏休みの宿題になり、地域住民も楽しみにしており恒例になっている。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシは自治会全戸、小中学校3校、北高校、大宮高校、野崎東病院、あわいや、どんこや、キャンパスの会に配付。	
	②住民の参加	A	A	今年度の応募は1292首と昨年より増えた。			⑥課題解決への作用	A	A	短歌大会が大島通線の短歌ロードに繋がることも認知されつつある。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	老若男女、誰もが気軽に応募できる事業であり、地域文化として根付いている。			⑦住民の満足度	A	A	各部門の入選者たちには先生の選評を添付して渡しているので、大変好評である。	
	④各種団体との連携	A	A	小中学校、北高校、大宮高校に広く参加を呼び掛け、また社会福祉法人施設の利用者などたくさんの応募があった。		事業継続の必要性				有① ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 今年度は記念すべき10年目の大会であった。地域の文化交流事業として、浸透してきており、応募総数も過去最多となった。 大会で賞状や商品を渡す際は、表彰者が左側、受賞者が右側に立つ方がいいとの指摘があり、次年度以降の改善点としていきたい。									
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応			
	＜意見への対応＞										
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応		未 ・ 済	
	＜意見への対応＞										

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5] 伝統文化に係る事業

事業名	ウ 大島通線短歌ロード事業	実施年数	4年目
事業期間	開始：令和3年度	終了： なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○あいさつやマナーの向上を目指します ○地域の体育・文化活動を推進します 基本目標3 地域の力を育むまち ○子どもは地域の宝として見守り育てます 基本目標4 文化を守り伝えるまち ○地域の文化を学び広めます		
目的 (期待される効果)	東大宮地域を縦断する大島通線を『東大宮短歌ロード』と称して、東大宮中学校横の街路樹に、これまで入選された方々の短歌を掲げる。		
事業内容・手段	[内 容] 短歌大会の優秀作品の短歌プレートを街路樹に設置する。設置することにより地域の文化活動を推進し、短歌大会の参加者を増やしていきたい。短歌は定期的に差し替えを行う。他部会と協力し、中学校周辺の美化活動(ゴミ拾い等)を行い大島通線沿いの美化につなげる。 ◎7月2日(火)…まちづくり部会員の協力を得て短歌プレート20首を差し替えて、20首を移動掲示した。 ◎12月25日(水)…まちづくり部会員の協力を得て、短歌プレート20首を差し替えて、20首を移動掲示した。		
事業費	229,095円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)	該当なし		
住民の声(アンケートの結果等)	・毎日の散歩で短歌を見るので楽しみです。 ・作品が掲示されると、嬉しくて創作意欲がわく。		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項			評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度						本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	過去の優秀作品を定期的に替えて掲げるにより地域住民に短歌に親しんでもらう。	広報	⑤事業の周知	A	B	地域住民に短歌を新しく入れ替えたことを周知させる方法を具体的に考える必要がある。		
	②住民の参加	A	A	短歌大会の応募や短歌ロードを見ながらの地域散策を楽しんでもらっている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	大島通線短歌ロードとして、定着しつつある。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域みんなが参加している文化活動として定着する必要がある。			⑦住民の満足度	A	A	掲げられた作者も、短歌ロードを見ている地域住民も満足している。	
	④各種団体との連携	A	A	掲げられる短歌は、小中学校、高校、地域住民からの応募作品であり、毎回協力してもらっている。	事業継続の必要性				○有 ・ 無		
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・短歌プレートの入れ替えの連絡が大変なため『短歌大会』の表彰と同時に掲示される時期、受渡しの時期を文書でお知らせするようにした。 ・短歌プレートを入れ替えた時に写真を撮影し、Instagramに投稿したり、ホームページを更新し広範囲に周知した。									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済		
		＜意見への対応＞									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済		
		＜意見への対応＞									

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[6] その他の事業

事業名	ア まちづくり推進委員会活動費	実施年数	13年目
事業期間	開始：平成24年度	終了：	なし
地域魅力発信 プランとの関連	深い絆、夢と笑顔があふれるまち		
目的 (期待される効果)	東大宮地域まちづくり推進委員会の円滑な運営を目的とする。		
事業内容・手段	・地縁団体との連携や部会との連絡調整を行う。 …各種団体の会議や部会に出席する。 ・事務局員の休日・時間外活動を手当として計上する。 …事務局員の休日・時間外活動を手当として適正に計上した。 ・他の地域や団体へ役員による視察や研修参加を行い、まちづくり活動に役立てる。 …近隣の地域の事務局と意見交換会を開催した。地域コミュニティ課主催の研修会や意見交換会に参加した。 ・各部会の事業に必要な広告案内をする。 …地域住民が参加したくなるような事業の広告案内作成を心掛けた。		
事業費	814,117円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)	該当なし		
住民の声（アンケートの結果等）	該当なし		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域住民がまちづくりに何を求めているかを常に念頭に置いて、活動していく。	事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	—	学校や近隣の事業所にポスターの掲示、チラシの配付を依頼した。	
	②住民の参加	—	—	該当なし			⑥課題解決への作用	A	A	各種団体と地域の課題を共有し、各部会へつなげた。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各事業計画を円滑に運営実行するために必要である。			⑦住民の満足度	A	A	各部会の事業告知のチラシ等は地域住民に好評である。	
	④各種団体との連携	A	B	各部会、社協や民児協、さんさんクラブ等との連携を引き続き強化していきたい。		事業継続の必要性				⑦ ・ 無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・近隣のまちづくり事務局と意見交換会を行い、課題解決に向けて有意義な会議を開催できた。 ・地域コミュニティ課主催の研修会に参加し、今後のまちづくりのあり方について理解を深めた。 ・まちづくり部会員を対象とした説明会を開催し、地域コミュニティ課職員から今後のまちづくりのあり方について、わかりやすく説明してもらった。									
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未 ・ 済		
	＜意見への対応＞										
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞							対応	未 ・ 済		
	＜意見への対応＞										

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[6] その他の事業

事業名	イ まちづくり計画推進事業		実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成25年度		終了： なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う『向こう三軒両隣』の精神を大切にします 基本目標3 地域の力を育むまち ○地域の人材を発掘し、リーダーを育てます															
目的 (期待される効果)	「東大宮まちづくり計画」の実現に向け、支援者の募集、広報、各種団体や部会間の連携強化を行う。															
事業内容・手段	①まちづくり推進委員を対象に、いろいろな研修会等に参加しやすい環境をつくり、まちづくりに必要な知識を習得する。 …全部会員を対象とした、今後のまちづくりのあり方についての説明会を行った。説明は地域コミュニティ課の職員に担当してもらった。 ②連絡調整、事業の円滑化のために、部会員や地域住民がスマートフォン等を活用できるようにサポートする。スマホ講座を開催した。 …スマホ講座を、1クール4回、年間6クール24回実施した。 ③「まちづくり推進委員会」の作成した各種事業のポスターやチラシの掲示及び配付を、地域の病院・薬局・飲食店・自治公民館、児童福祉施設等に協力依頼する。 …防災フェスティバル、健康ふくしまつり、子育て支援など ④小中学校の卒業式や『はたちの集い』に積極的に参加協力を行い、卒業生とその保護者にまちづくり推進委員会に望むこと、またまちづくりサポーターとして登録を依頼する。これを基に地元に住む若手支援者の発掘につながる仕組み作りをする。 …小中学校の卒業生一人一人にエコバックを贈呈。『はたちの集い』にもお祝いとしてエコバックを贈呈し、まちづくりを紹介。フォトスポットを設置し、まちづくりの写真撮影を実施し3月に『ドリームかわ版・はたちの集い特集号』として広報紙を発行。 ⑤学校と連携して、多世代交流の場をつくる。 …宮崎東小学校・東大宮小学校から地域事務所を通して『ミシン実習の補助』『町探検の見守り』『昔遊び』の応援依頼が合計12回あり、部会員・民生委員・さんさんクラブの会員さんが快く参加してくれた。 ⑥まちづくり事業や会議時に、手話通訳・言語通訳・視覚障がい者の支援が必要な場合に専門家を手配する。 …今年度は利用はなかった。															
事業費	230,881円															
対象者	東大宮地域住民および営業店舗															
参加者数 (内訳)	②スマホ講座 <table><tr><td>年 度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>144人</td><td>204人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>87人</td><td>82人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>231人</td><td>286人</td></tr></table>				年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	144人	204人	スタッフ	87人	82人	合 計	231人	286人
年 度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	144人	204人														
スタッフ	87人	82人														
合 計	231人	286人														
住民の声（アンケートの結果等）	《ミシン実習の補助》 ・ボランティアの方々、ナップザック作りを手伝ってくださりありがとうございました。おかげで修学旅行に持っていくことができました。 《スマホ講座》 ・短時間の講座の中で、スマホ全体の使用方法をお話ししていただくのは大変なことだったと思います。その中で、大切な方法等具体的に講座の中に取り入れての内容で、大変ありがとうございました。 ・使い方がわからないものばかりでしたので、少しでも使えるようになって良かったです。スマホを便利に使ってみます。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	②高齢者の多くはスマホを持っているが、通話のみの利用が多い。便利な機能を使えるように支援し活動的になってもらう。	広報	⑤事業の周知	A	A	②口コミやチラシの効果で新規の参加者が増えている。
	②住民の参加	A	A	②スマホ講座のチラシを作成し、順番に自治会に配付したところ、新規の参加者が増えつつある。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	②1クール4回の講座にしたが、何度も繰り返し練習することが必要と思われる。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	②スマホによる連絡手段が浸透すれば、連絡が迅速・確実になり、通信運搬費にかかる経費も削減できる。		⑦住民の満足度	A	A	②受講者全員が講師の指導について絶賛し、何回でも受講したいとの声が多かった。
	④各種団体との連携	A	B	②部会員に限らず地域住民に広く周知し、参加を促した。		事業継続の必要性			
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ ・スマホ講座は毎回、気軽に参加して質問も出来るということで好評である。 ・スマホ講座のチラシを作成し、順番に自治会への全戸配布を行っている。今まで参加されたことのない新規の申込が増えつつある。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
		＜意見への対応＞							
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未 ・ 済
＜意見への対応＞									

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。
 その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 地域防災訓練事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	288,000	
2	繰越金	100,000	
3			
4	合計 (A)	388,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	21,000	司会謝金・講師謝金
3	旅費	14,520	自衛隊高速代
4	需用費	395,702	消耗品費 78,425 印刷製本費 55,095 各自治会防災訓練用啓発用品 62,300 燃料費 3,000 食糧費 (スタッフ弁当代) 142,891 賄材料費 (自衛隊炊き出し) 53,991
5	役務費	32,800	切手 12,800 傷害保険 20,000
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	15,500	音響設備費、掘削機レンタル代
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	479,522	

収支差額 (A) - (B)	-91,522
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ 地域防犯パトロール事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	340,000	
2	繰越金	160,000	
3			
4	合計 (A)	500,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	53,499	消耗品費 2,459 印刷製本費 2,265 燃料費 (青パト) 36,633 食糧費 (お茶) 12,142
5	役務費	3,080	切手
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	363,000	車輛リース料 (30,250円×12カ月)
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	419,579	

収支差額 (A) - (B)	80,421
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ウ 災害対策事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	150,000	
2			
3			
4	合計 (A)	150,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	19,676	消耗品費
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	19,676	

収支差額 (A) - (B)	130,324
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 認知症予防と健康維持の実践
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	210,000	
2			
3			
4	合計 (A)	210,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	54,000	講師謝金6,000円×9回
3	旅費		
4	需用費	9,611	印刷製本費 2,345 食糧費 7,266
5	役務費	5,287	傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	39,300	自治公民館使用料 5,200 公民館冷暖房使用料 4,100 マージャン用品使用料 30,000
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	108,198	

収支差額 (A) - (B)	101,802
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ 健康ふくしまつり共催事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	230,000	
2			
3			
4	合計 (A)	230,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	138,486	消耗品費 43,620 食糧費 65,931 印刷製本費 28,935
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	100,000	仮設物設置撤去、音響、電気設備
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	238,486	

収支差額 (A) - (B)	-8,486
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ウ 地域で子育て支援共催事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	300,000	
2			
3			
4	合計 (A)	300,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	114,000	保育士・看護師謝金@3,000*17*2名 102,000 講師謝金6,000円×2名 12,000
3	旅費		
4	需用費	122,807	消耗品費 71,875 食糧費 46,622 印刷製本費 4,310
5	役務費	10,640	行事保険560円×19回
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品費購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	247,447	

収支差額 (A) - (B)	52,553
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	エ 楽楽ダンス共催事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	200,000	
2			
3			
4	合計 (A)	200,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	90,000	講師謝金6,000円×15回
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費	2,470	傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品費購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	92,470	

収支差額 (A) - (B)	107,530
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 大島通線花舞街道創作事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	220,000	
2			
3			
4	合計 (A)	220,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	197,571	消耗品費 79,169 啓発用品 63,400 食糧費 43,222 燃料費 3,000 印刷製本費 8,780
5	役務費	4,620	傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	8,000	トラック使用料@1,000*2 @3,000*2
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	210,191	

収支差額 (A) - (B)	9,809
----------------	-------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	アドリームかわらばん事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	140,000	
2			
3			
4	合計 (A)	140,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	40,000	謝金(年間ホームページ管理)
3	旅費		
4	需用費	47,595	印刷製本費
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	5,376	年間レンタルサーバー、ドメイン
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	92,971	

収支差額 (A) - (B)	47,029
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 歌声コミュニティ
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	210,000	
2			
3			
4	合計 (A)	210,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	156,000	講師謝金6,000円×26回
3	旅費		
4	需用費	2,265	印刷製本費
5	役務費	13,985	傷害保険 8,445 切手 5,540
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	172,250	

収支差額 (A) - (B)	37,750
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ 「短歌のまちづくり」を進める
-----	------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	160,000	
2	繰越金	80,000	
3			
4	合計 (A)	240,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	35,000	講師謝金、大会審査謝金
3	旅費		
4	需用費	200,178	啓発用品 (賞品) 150,029 消耗品費 24,099 印刷製本費 26,050
5	役務費	11,704	傷害保険 1,850 切手 9,854
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	246,882	

収支差額 (A) - (B)	-6,882
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ウ 大島通線短歌ロード事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	110,000	
2	繰越金	150,000	
3			
4	合計 (A)	260,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	24,000	短歌看板取付・取替謝金 (4名)
3	旅費		
4	需用費	205,095	消耗品費 11,495 短歌看板プレート (40枚) 193,600
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	229,095	

収支差額 (A) - (B)	30,905
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア まちづくり推進委員会活動費
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	882,000	
2	繰越金	214,715	
3	使用料	3,000	青パト使用料
4	自己資金	1,276	銀行利息
5	合計 (A)	1,100,991	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	手当	355,555	事務局員 休日出勤・時間外手当
4	旅費	23,200	役員旅費12名 監査2名
5	需用費	151,896	消耗品費 151,236 修繕費 660
6	役務費	201,221	通信費他 141,321 振込手数料 39,600 ボランティア活動保険 20,300
7	委託料		
8	使用料及び賃借料	41,745	パソコン保守料、wi-fiレンタル
9	工事請負費		
10	原材料費		
11	備品購入費	40,500	パソコン
12	積立金		
14	合計 (B)	814,117	

収支差額 (A) - (B)	286,874
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ まちづくり計画推進事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	350,000	
2	繰越金	100,000	
3			
4	合計 (A)	450,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	144,000	スマホ講座講師謝金6,000円×24回
3	旅費		
4	需用費	83,605	消耗品費 6,205 はたちの集い・卒業記念品 77,400
5	役務費	3,276	スマホ講座傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	230,881	

収支差額 (A) - (B)	219,119
----------------	---------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 地域防災訓練事業
-----	------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	288,000	
2	繰越金	100,000	
3			
4	合計（Ａ）	388,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	21,000	司会謝金・講師謝金
3	旅費	14,520	自衛隊高速代
4	需用費	395,702	消耗品費 78,425 印刷製本費 55,095 各自治会防災訓練用啓発用品 62,300 燃料費 3,000 食糧費（スタッフ弁当代） 142,891 賄材料費（自衛隊炊き出し） 53,991
5	役務費	32,800	切手 12,800 傷害保険 20,000
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	15,500	音響設備費、掘削機レンタル代
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（Ｂ）	479,522	

収支差額（Ａ）－（Ｂ）	-91,522
-------------	---------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ 地域防犯パトロール事業
-----	---------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項 目	金 額	備 考
1	基礎交付金	340,000	
2	繰越金	160,000	
3			
4	合計（A）	500,000	

（２）支出の部

番号	科 目	金 額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	53,499	消耗品費 2,459 印刷製本費 2,265 燃料費（青パト） 36,633 食糧費（お茶） 12,142
5	役務費	3,080	切手
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	363,000	車輛リース料（30,250円×12カ月）
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	419,579	

収支差額（A）－（B）	80,421
-------------	--------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ウ 災害対策事業
-----	----------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	150,000	
2			
3			
4	合計（A）	150,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	19,676	消耗品費
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	19,676	

収支差額（A）－（B）	130,324
-------------	---------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 認知症予防と健康維持の実践
-----	-----------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	210,000	
2			
3			
4	合計（A）	210,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	54,000	講師謝金6,000円×9回
3	旅費		
4	需用費	9,611	印刷製本費 2,345 食糧費 7,266
5	役務費	5,287	傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	39,300	自治公民館使用料 5,200 公民館冷暖房使用料 4,100 マージャン用品使用料 30,000
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	108,198	

収支差額（A）－（B）	101,802
-------------	---------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ 健康ふくしまつり共催事業
-----	----------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	230,000	
2			
3			
4	合計（A）	230,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	138,486	消耗品費 43,620 食糧費 65,931 印刷製本費 28,935
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	100,000	仮設物設置撤去、音響、電気設備
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	238,486	

収支差額（A）－（B）	-8,486
-------------	--------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ウ 地域で子育て支援共催事業
-----	----------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	300,000	
2			
3			
4	合計（A）	300,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	114,000	保育士・看護師謝金@3,000*17*2名 102,000 講師謝金6,000円×2名 12,000
3	旅費		
4	需用費	122,807	消耗品費 71,875 食糧費 46,622 印刷製本費 4,310
5	役務費	10,640	行事保険560円×19回
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品費購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	247,447	

収支差額（A）－（B）	52,553
-------------	--------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	エ 楽楽ダンス共催事業
-----	-------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	200,000	
2			
3			
4	合計（A）	200,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	90,000	講師謝金6,000円×15回
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費	2,470	傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品費購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	92,470	

収支差額（A）－（B）	107,530
-------------	---------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 大島通線花舞街道創作事業
-----	----------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	220,000	
2			
3			
4	合計（A）	220,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	197,571	消耗品費 79,169 啓発用品 63,400 食糧費 43,222 燃料費 3,000 印刷製本費 8,780
5	役務費	4,620	傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	8,000	トラック使用料@1,000*2 @3,000*2
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	210,191	

収支差額（A）－（B）	9,809
-------------	-------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	アドリームかわらばん事業
-----	--------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	140,000	
2			
3			
4	合計（A）	140,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	40,000	謝金(年間ホームページ管理)
3	旅費		
4	需用費	47,595	印刷製本費
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	5,376	年間レンタルサーバー、ドメイン
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	92,971	

収支差額（A）－（B）	47,029
-------------	--------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 歌声コミュニティ
-----	------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	210,000	
2			
3			
4	合計（A）	210,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	156,000	講師謝金6,000円×26回
3	旅費		
4	需用費	2,265	印刷製本費
5	役務費	13,985	傷害保険 8,445 切手 5,540
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	172,250	

収支差額（A）－（B）	37,750
-------------	--------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ 「短歌のまちづくり」を進める
-----	------------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	160,000	
2	繰越金	80,000	
3			
4	合計（A）	240,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	35,000	講師謝金、大会審査謝金
3	旅費		
4	需用費	200,178	啓発用品（賞品） 150,029 消耗品費 24,099 印刷製本費 26,050
5	役務費	11,704	傷害保険 1,850 切手 9,854
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	246,882	

収支差額（A）－（B）	-6,882
-------------	--------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ウ 大島通線短歌ロード事業
-----	---------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	110,000	
2	繰越金	150,000	
3			
4	合計（A）	260,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	24,000	短歌看板取付・取替謝金（4名）
3	旅費		
4	需用費	205,095	消耗品費 11,495 短歌看板プレート （40枚） 193,600
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	229,095	

収支差額（A）－（B）	30,905
-------------	--------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア まちづくり推進委員会活動費
-----	-----------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	882,000	
2	繰越金	214,715	
3	使用料	3,000	青パト使用料
4	自己資金	1,276	銀行利息
5	合計（A）	1,100,991	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	手当	355,555	事務局員 休日出勤・時間外手当
4	旅費	23,200	役員旅費12名 監査2名
5	需用費	151,896	消耗品費 151,236 修繕費 660
6	役務費	201,221	通信費他 141,321 振込手数料 39,600 ボランティア活動保険 20,300
7	委託料		
8	使用料及び賃借料	41,745	パソコン保守料、wi-fiレンタル
9	工事請負費		
10	原材料費		
11	備品購入費	40,500	パソコン
12	積立金		
14	合計（B）	814,117	

収支差額（A）－（B）	286,874
-------------	---------

事業別収支計算書（案）

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ まちづくり計画推進事業
-----	---------------

（１）収入の部

（単位：円）

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	350,000	
2	繰越金	100,000	
3			
4	合計（A）	450,000	

（２）支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	144,000	スマホ講座講師謝金6,000円×24回
3	旅費		
4	需用費	83,605	消耗品費 6,205 はたちの集い・卒業記念品 77,400
5	役務費	3,276	スマホ講座傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計（B）	230,881	

収支差額（A）－（B）	219,119
-------------	---------

(様式第10号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年5月28日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市村角町島ノ前1346番地1
名 称	東大宮地域まちづくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名	会長 吉田 昌良
電 話 番 号	0985-20-6232

令和6年3月28日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において997,226円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添 付 書 類

令和6年度収支決算書

(様式第 8 号)

令和 7 年 3 月 12 日

令和 6 年度 東大宮地域まちづくり推進委員会への意見書〔事業実施報告〕

東大宮地域自治区地域協議会
会 長 日 高 茂 雄

令和 6 年度の東大宮地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていたので、承認いたします。

なお、承認に際し、特に意見はありませんでした。